



2 災害に強い県づくり

◆ **度重なる災害からの復旧・復興を着実に進めるとともに、災害の教訓を活かした防災・減災対策や「逃げ遅れゼロ」等の推進により県民の安全・安心な暮らしを守る**

暮らしの再建と被災施設の復旧

◆ **令和元年東日本台風災害や令和3年8月・9月の大雨災害の被災者に寄り添った支援を市町村と連携して実施するとともに、ビルド・バック・ベターの観点を持ちつつ、早期の復旧・復興を実現**

令和元年東日本台風災害からの復旧・復興 97億5564万9千円（190億465万4千円）⇒危機管理部、林務部13・14、建設部25・27・28
・河川・砂防・治山施設等の復旧を進めるほか、応急仮設住宅を提供

令和3年8月・9月の大雨災害からの復旧・復興 43億2423万円※ ⇒危機管理部、企画振興部、農政部、林務部13・15、建設部25・26・27・28
・河川や林道等の復旧、砂防・治山施設等の設置により、再度災害防止対策を強化
(新)・大雨災害により一部不通となっているアルピコ交通上高地線の早期復旧を図るため、橋梁復旧費用を助成

防災・減災、県土強靱化

◆ **道路等の老朽化対策や流域治水対策、治山施設の整備、ため池の耐震化等、国の5か年加速化対策を活用した防災・減災対策（1月補正予算：382億円計上）、通学路の交通安全対策等を推進**

防災・減災対策 962億2049万4千円※（542億8288万6千円）⇒農政部7・8・9、林務部12・13・14・15、建設部25・26・28
・道路等の老朽化対策、災害時における道路の迂回機能の強化、治山施設の整備、ため池の耐震化等を実施
・森林整備と施設整備を一体的に施工し、保水機能の向上を図るとともに、砂防事業と連携した流域治水対策を実施

通学路緊急交通安全対策、交通安全教育の強化 30億6903万4千円※（12億8670万9千円）⇒県民文化部6、建設部9、警察本部2
・児童生徒の交通安全を確保するため、緊急合同点検結果に基づく歩道整備や交差点の改良等を実施
・自転車の安全な利用に関する広報・啓発や高齢ドライバーの運転能力低下に対する気づきを促す講師の養成を行うとともに、歩行者事故防止のための横断歩道ルール・マナーアップ行動を県民に普及

治水対策の推進

◆水害の頻発化・激甚化に対応するため、これまでの治水対策に加え、市町村や民間事業者、住民などの流域関係者全員が参画して、水害に強い、安全・安心な地域づくりを推進

河川整備の取組 297億579万5千円※（247億751万8千円）⇒建設部1・3・25・27・28

- ・水害を防止するため、護岸整備や堤防強化等のハード整備による治水対策を計画的に推進
- ・県単独の緊急浚渫推進事業を昨年度と同規模（20億円）実施、5か年加速化対策により河川等の浚渫を推進

流域における雨水貯留等の取組 81億4465万3千円※（83億3376万9千円）⇒農政部7、林務部13、建設部1・26

- ・県有施設における雨水貯留浸透施設・雨水貯留タンクの設置や、ため池・水田を活用した雨水貯留、流域内での森林整備など、流域全体で雨水を留める取組を推進

水害に備えたまちづくりや住民避難促進の取組 7億2228万4千円※（8億9307万5千円）⇒危機管理部1、建設部1・6

- ・浸水想定区域図の作成、砂防ボランティアによる地域での防災教育等、水害に備えた取組を推進

逃げ遅れゼロ、避難所の環境改善

◆令和元年東日本台風災害等を教訓に逃げ遅れゼロプロジェクトを推進し、県民の防災意識の向上を図るとともに、避難所の環境改善等を実施

住民や行政の防災力を向上させる取組の実施 6775万8千円※（6386万4千円）⇒危機管理部1、企画振興部、健康福祉部23

- ・市町村長を対象としたトップセミナーの開催やキャラバン隊による相談体制の構築により、適時適切な避難指示等の発令が可能となるよう支援することで、市町村の防災力を強化
- ・既に搭載済みの大規模河川等に加えて、新たに中小河川のハザードマップを「信州防災アプリ」に搭載するとともに、WEB広告等を活用しアプリの普及を促進

(新)・スマホを活用できない高齢者等の防災意識の向上を図るため、「信州防災手帳」を配布

- ・県社会福祉協議会と協力し、災害ボランティアの育成研修等を実施
- ・災害時において、関係機関との情報収集及び共有、住民への情報発信を迅速かつ確実に行い、住民の適時適切な避難に繋げるため、防災情報システムを改修

避難所TKB（トイレ・キッチン・ベッド）の環境改善 607万円（498万5千円）⇒危機管理部1

- ・避難所のTKB（トイレ・キッチン・ベッド）環境を改善するため、快適トイレ普及のための支援、キッチンカーによる食事の提供を促すための市町村と事業者との交流会、段ボールベッドの設置研修等を実施

火山防災対策の充実・強化

◆令和4年度に開館する御嶽山ビジターセンターを活用した火山防災対策を着実に進めるとともに、御嶽山等における取組を他の火山にも展開し、県全体の火山防災対策の取組を加速

御嶽山ビジターセンターを核とした災害に強い地域づくり 2028万9千円（5億6199万9千円）⇒危機管理部2、環境部9

- (新)・御嶽山ビジターセンターの開館に合わせ、避難計画の改定に必要な登山者の動態把握調査を行うとともに、火山に関する体験・学習活動の充実など、防災対策と観光振興を実施

関係者との連携等による御嶽山の防災対策 6281万4千円※（3259万円）⇒危機管理部2、建設部25

- ・地域や名古屋大学と連携し、御嶽山の火山研究や防災情報の常時発信等の防災対策を実施
- ・御嶽山地域で火山防災の普及啓発活動を担う火山マイスターを育成するため、マイスター認定試験等を実施
- ・噴火に起因する土石流等を抑制するための緊急対策用資材を備蓄

御嶽山等の先進的な火山防災対策の取組を他火山へ展開 18万7千円 ⇒危機管理部2

- (新)・御嶽山等における先進的な火山防災対策を他火山へ展開するため、実効性のある避難計画の作成や防災訓練の実施等について、各火山に共通する課題解決を図るための連絡会議を通じて様々な取組を共有し、県全体の火山対策を推進